

# マルチモダリティ装置とAIが織りなす 眼科診断の新時代

ランチオンセミナー7 (LS7)

Room8 マリンメッセ福岡 B館 1F 展示室東

2026.4.9(thu) 12:20-13:20



座長のことば

座長 中澤 徹 先生 (東北大学)

臨床現場では眼疾患の診断や治療の決定に異なるモダリティのデータを総合的に判断することが求められています。また、近年、AI技術、特にDeep Learningアルゴリズムの飛躍的進歩により、疾患をより包括的に表現し診断精度を向上させる発表が増え、大きな注目を集めてきています。今回のセミナーでは「マルチモダリティ装置とAIが織りなす眼科診断の新時代」と題し、先生方にご登壇頂きます。先ず、園田先生には、Multimodal Imagingを実現しているTriton2のメリット及びこんな時便利という活用方法を講演して頂きます。Daniel Ting先生には、臨床診断と管理に最も使われている2つのモダリティであるOCT像とカラー眼底画像を活用したAIモデルの可能性と応用展望について講演して頂きます。最後に、私より、自院で研究中の場の設計と緑内障早期発見におけるAI活用を含め、今後の臨床応用の可能性についてお話ししたいと思います。より多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。



演者

園田 祥三 先生

鹿児島そのだ眼科・形成外科



演者

Daniel Ting 先生

Singapore National Eye Center



演者

中澤 徹 先生

東北大学

OCTの価値はどこまで高められるか??

～刷新された眼底カメラを備えた  
Triton2の網膜診療アップデート～

AI Innovation in Ophthalmology:  
What's new in 2026??

同時通訳あり

緑内障 AIの社会実装を  
どう進めていくのか??